

伝統工芸の未来に向けた新たな政策

2023年9月、本学会の新しい試みである「オンライン部会」において、はじめての研究会「産業としての伝統工芸研究会」が発足しました。これまで本学会では、全国各地の地域支部で会員による研究、交流活動を続けていましたが、これを機にテーマ別の研究会活動も学会活動の中に位置づけたいと考えています。2024年度の秋の講演会は、この研究会の研究成果を踏まえつつ、「伝統工芸の未来に向けた新たな政策」をテーマに実施いたします。

* 登壇者

2024年11月17日（日）

第1部：13:00-14:50：登壇者発表

第2部：15:00-16:30：ディスカッション

京都橘大学 啓成館G102教室

会場定員100名

／zoom参加可（90名）

参加費無料・要申し込み

山口徳彦氏（経済産業省 文化創造産業課伝統的工芸品産業室）

秋山祐貴子氏（輪島塗職人）「地震発生以降のあゆみと地域課題」

加茂勝康氏（タケナフビレッジ協同組合／加茂刃物製作所）
「生き残りをかけた職人の挑戦」

安嶋是晴氏（富山大学）「伝統産業における産業観光の可能性」

中澤義晴氏（日本貿易振興機構（JETRO）デジタルマーケティング部）
「JETROの工芸品・伝統製品の海外展開支援」

コーディネーター 後藤和子（摂南大学）、高島知佐子（静岡文化芸術大学）

* 申込先

11月12日までに以下のURLより申込みください。
オンライン参加の詳細は、以下から確認ください。

<https://tinyurl.com/yszs7bv2>



* 問い合わせ

産業としての伝統工芸研究会
craft.jace2023@gmail.com（代表：後藤・高島）

* アクセス

住所：京都市山科区大宅山田34／地下鉄東西線「柳辻駅」から徒歩約15分、JR・地下鉄東西線「山科駅」より京阪バスで約18分（「大宅」下車、徒歩10分）
<https://www.tachibana-u.ac.jp/about/campus/access.html>

※登壇者等の最新情報は以下をご覧ください。
<https://traditionalcrafts-asindustry.jimdofree.com>



* 文化経済学会<日本> 産業としての伝統工芸研究会とは

日本は先進国の中で最も多様な伝統工芸産業が残る国であり、文化経済学の中で先端的な研究ができる可能性を秘めている。本研究会の関心は、伝統工芸の技を継承するためにも、作家やアート活動ではなく、「産業として維持していくことが不可欠」という点にある。原材料の調達から製品の流通までの全プロセスが不可分に結びついているためである。上絵を描きたい作家ばかりが多くても、その素材となる土や生地を作る職人がいなくては、伝統工芸は維持できない。そこで、本研究会を立ち上げ、全国の多様な伝統工芸の研究を包括的に議論する場を設ける。